

高等学校施設整備指針改訂にあたっての主な検討内容(案)

1. 趣旨

高等学校学習指導要領の改訂や新時代に対応した高等学校改革、社会状況の変化への対応等を踏まえ、高等学校施設整備指針の改訂に向け、今後の高等学校施設の在り方を検討する。

2. 検討内容

新学習指導要領への対応

平成29年3月に高等学校学習指導要領が改訂され、令和4年度より年次進行で実施予定。知識の理解の質を高め資質・能力をはぐくむ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、「公共」や「理数」の新設、情報教育の充実、障害に応じた指導などが盛り込まれている新学習指導要領の内容を踏まえ、どのような学校施設が求められているか。

キーワード

< 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 >

情報を的確に理解し効果的に表現する、社会的事象について資料に基づき考察する、日常の事象や社会の事象を数理的に捉える、自然の事物、現象を観察・実験を通じて科学的な概念を使用して探求する 等

< 教育内容の主な改善事項 >

言語能力の確実な育成、理数教育の充実、伝統や文化に関する教育の充実、道徳教育の充実、外国語教育の充実、職業教育の充実

< その他の重要事項 >

初等中等教育の一貫した学びの充実、主権者教育・消費者教育・防災・安全教育などの充実、情報教育（プログラミング教育を含む）、部活動、子供たちの発達の支援（キャリア教育、障害に応じた指導、日本語の能力等に応じた指導、不登校等）

新時代に対応した高等学校改革、社会状況の変化への対応

平成31年4月の中央教育審議会の諮問及び、令和元年5月の教育再生実行会議第十一次提言などを踏まえ、また、少子化や働き方改革等の社会状況の変化への対応として、どのような学校施設が求められているか。

キーワード

各学科の在り方、STEAM教育⁽¹⁾の推進、定時性・通信制課程の在り方、地域社会や高等教育機関との協働、特別な配慮が必要な生徒への対応、定時制・通信制高等学校における多様なニーズへの対応、適正規模の確保(地域の実情に応じた高等学校の再編整備)、ICT環境整備、Society5.0社会の到来、グローバル化の急速な進展、働き方改革(校務情報化等)、少子高齢化 等

1 Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics 等の各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育

学校施設の機能向上への対応

第二次ベビーブームを受けて大量に建設された学校施設の老朽化や、地震や豪雨等の頻発化、多様化、甚大化する自然災害への対応など、学校施設を取り巻く課題に対し、どのような機能向上が求められているか。

キーワード

施設の老朽化対策、防災機能強化、熱中症対策を含めた施設の快適性の確保、バリアフリー化、防犯対策、インフラの長寿命化、施設の複合化、地域との連携、地球温暖化等の環境問題への対応 等